

## 地下水浄化設備の稼働状況

### 1. 地下水浄化対策工事の完了

現場地下水浄化計画に基づいて施工してきた新設揚水井戸（H26施工：2箇所、H27施工：22箇所）、浸透枡（管理用道路に設置した浸透枡33箇所、つぼ穴利用浸透枡5箇所）、雨水貯留池（3箇所）の設置工事が本年8月までに完了した。

9月からは既設揚水井戸（4箇所）も含めた本格的な汚染地下水の揚水を開始するとともに、各揚水井戸からの揚水量、浸透枡の貯留状況及び1,4-ジオキサン濃度を確認し、必要に応じて雨水貯留池から浸透枡へ雨水を送水して地下水の涵養を図っているところであり、汚染地下水の浄化促進に取り組んでいる。

### 2. 現在の稼働状況

#### （1）各揚水井戸の稼働状況




全ての揚水井戸が稼働した9月以降の汚染地下水の集水量は、現場地下水浄化計画で当初見込んでいた150m<sup>3</sup>/日を上回る約180m<sup>3</sup>/日となっており、汚染地下水の洗い出しは図られているものと考えられるが、井戸によって揚水量にばらつきがあることから、揚水ポンプの稼働範囲の調整を行っている。

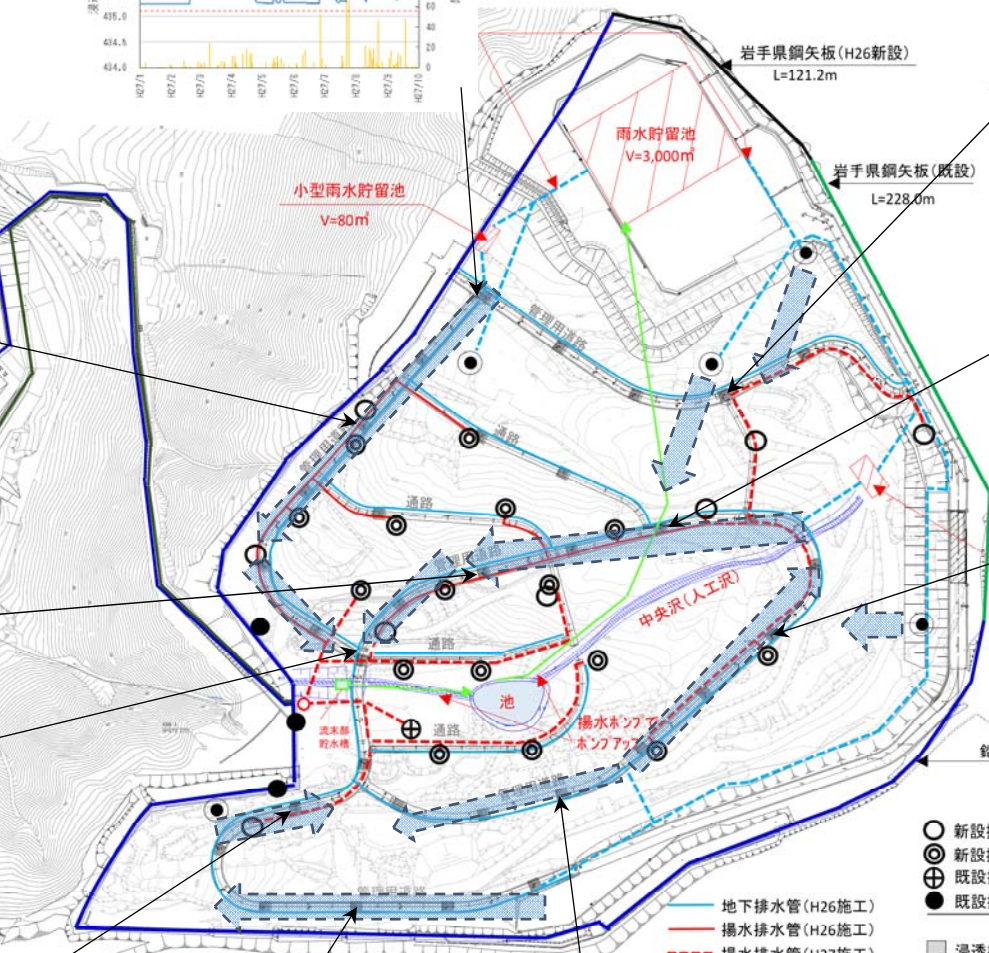
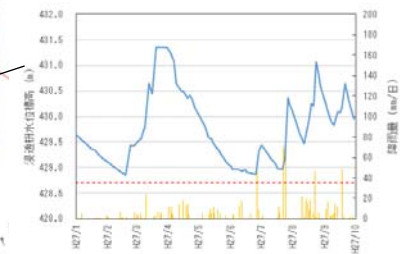
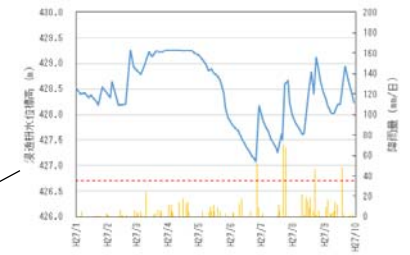
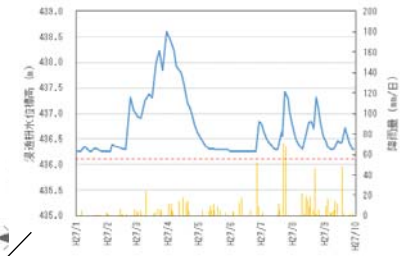
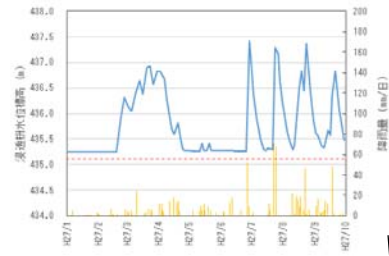
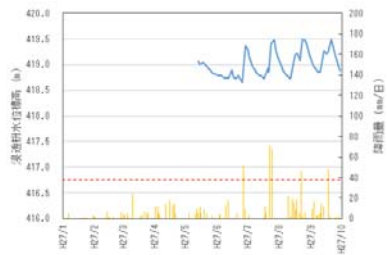
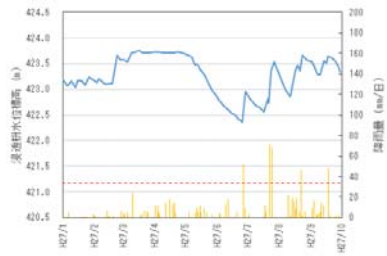
#### （2）浸透枡の雨水貯留状況

浸透枡33箇所のうち、10箇所で雨水の貯留状況を把握できるようになっており、渇水時期等、降雨が少なく浸透枡の貯留水が無くなる時には雨水貯留池から送水し、また、揚水量が少ない揚水井戸の付近にある浸透枡へ優先的に送水するなどして、地下水の涵養を図っている。

# 地下水浄化設備の稼働状況

## 凡例

-  : 浸透枓内の水位標高
-  : 浸透枓底の標高
-  : 現場降雨量



- 新設揚水井戸(第一帯水層) 8箇所
- ◎ 新設揚水井戸(第二帯水層) 16箇所
- ⊕ 既設揚水井戸(第一帯水層) 1箇所
- 既設揚水井戸(第二帯水層) 3箇所
- 計 28箇所
- 浸透枓 33箇所
- 浸透枓(つぼ穴利用) 5箇所